



下関市長の部屋

検索

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

一般国道191号「下関北バイパス」が全線開通します！

にちは。市長の中尾友昭です。いよいよ一般国道191号「下関北バイパス」が、3月28日に全線開通します。

この開通によって、長年本市の懸案であった山の田交差点を中心とする下関西部地区の慢性的な交通渋滞が緩和されることが期待されています。

下関北バイパスの全長は、筋川町から安岡駅前二丁目まで6・8キロにわたります。国土交通省により平成2年度に事業化され、これまで平成16年3月に筋川町から汐入町間の1・0キロを4車線供用し、平成18年3月には汐入町から武久町間の1・1キロを暫定2車線で部分供用されています。その後、全区間4車線での開通に向けて工事が進められてきました。

下関北バイパス全線開通により、交通の流れがスムーズになり、新たな宅地開発、店舗などの立地や、移動時間の短縮など日常生活の利便性の向上が図られます。観光地へのアクセス向上による地域経済の活性化も期待されます。

例えば、筋川町から安岡町二丁目間では移動時間が約18分短縮され、自家用車での通勤はもとより、

バスの運行の定時制が確保されることで、バス通勤でのゆとりも生まれることとなります。特に朝の通勤時間帯においては、大きな時間のゆとりとなります。新聞をじっくり読んだり、洗濯などの家事を一つ済ませてからの出勤が可能となりそうです。

下関市北部には、川棚温泉や、角島などの観光名所が数多くあり、九州方面からも多くの観光客が訪れています。夏場の観光シーズンには、北部に向かう道路周辺では市街方面まで延びる渋滞が発生し、本市の課題の一つとなっています。バイパスの開通によって、渋滞の解消と共に九州方面から観光地へのアクセスが向上することで、来訪者を快適に迎えることができ、さらなる交流の活性化が期待されます。

事 業着手から20年以上の歳月を経て4車線で全線開通する道路は、長年の市民の皆さんの悲願でありました。この開通に合わせて、市民参加のウォーキングなどの記念イベントを予定しています。皆さんにぜひ参加していただき、喜びを分かち合いましょう。

中尾市長の似顔絵を募集しています。作品と、住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を、広報広聴課(〒751-8521市内南部町1番1号)へお寄せください。

しものせきナビ vol.53

下関の国宝

住吉神社本殿

下関市一の宮住吉一丁目11番1号



長門国一宮である住吉神社には、当時長門国を治めていた大内弘世が造営したとされる、応安3(1370)年建築の国宝・本殿があります。全国に1棟ある国宝のうちの一つで、珍しい形式をもつ神社建築であり、意匠的にも非常に優れた建築です。本殿は、「九間社流造」と呼ばれる形式で、正面の屋根は長く延び、緩やかな曲線を描いています。内部は玉殿を据えた五つの神殿がそれぞれ相の間でつながれ、九つの空間から成り立っています。このような空間構成



と神殿ごとに正面に千鳥破風(※1)を載せるのは、流造の中では特異な例です。透かし模様が彫られた臺股(※2)が意匠的に優れているほか、全体としても構造意匠のよくまとまった美しい建築です。瑞垣に囲まれており、本殿に近づくことはできませんが、垣の外からでも屋根の曲線の美しさや建物全体が醸し出す洗練された雰囲気は、十分に堪能することができます。境内で足を止め、しばしの間、建築美に触れてみませんか。

(※1) 千鳥破風：屋根の流れ面に取り付けられた山形の部分。
(※2) 臺股：カエルが股を広げたような形をした、梁の上にある桁などを支える装飾的部材。

※国宝(建造物)…重要文化財のうち、世界的見地から価値が高く、構造や意匠などが特に優れ、かつ、文化的意義が深いもの